

読者と販売店を結ぶ情報紙

発行元：倶楽部 「結」
発行日：2022年3月13日
第 133 号

- 中野市：沼田新聞店
Tel: 0269-38-2265
- 中野市：湯沢新聞店
Tel: 0269-22-4078
- 高山村：藤沢新聞店
Tel: 026-245-2941
- 長野市：牧新聞店
Tel: 026-284-3705
- 長野市：和田新聞店
Tel: 026-296-5136



「この3年の今まで4月に紹介した「結」
2021年4月 新型コロナウイルスまん延によりお休み
2020年4月 今までの振り返り 1号〜23号
2019年4月 AZUMINO F-1 PARK
安曇野市 結 結

【伝統工芸に魅力】

～受け継がれる技～飯山市～

読者の皆様おはようございます。前回に引き続き、今回もオリンピックの話から始めさせていただきます。異例の一年延期で始まった昨年の東京オリンピック。間髪入れずに行われた中国での北京オリンピック。県勢も活躍し過去最多の18個のメダルを獲得しましたね。では、いつからオリンピックは始まったのか？疑問に感じて色々調べてみました。夏季オリンピックは、1896年アテネ大会が初の開催となり、冬季は1924年に開催された第1回大会のシャモニー・モンブランオリンピックから、1992年に開催された第16回大会のアルベールビルオリンピックまでは夏季オリンピックと同じ年に開催していましたが、1994年リレハンメルオリンピック以降、夏季オリンピック開催年の中間となる年(夏季から2年後)に変更となったそうです。調べてみると、「へ〜そうなのだ」と勉強になります。東京での夏季オリンピックでも多くの新競技がありました。冬季でも近年のスノーボード等、新たな競技が加わっています。昔からあるもの、近年でできたものとの融合・変化する時代。でも、昔ながらの精神・技術の「伝統」は受け継いでいてもらいたいですね。前座が長くなりましたが今回の「結」は、そのキーワード「伝統」を紹介します。日本の伝統…何がありますか？調べてみると国技の相撲もそうだし、各地域にある伝統工芸品もそうです。長野県の伝統と言えば飯山。鷲森金具のしおりや内山紙を体験。バナナボート発祥の地でもあり、魅力が沢山詰まった地域なので行ってみました。

先月、信濃毎日新聞にも掲載されましたが、2012年振りの2月7日、飯山市豪雪災害対策本部が設置されました。どれだけ積もっているのか知らずの長野市組、智ちゃんケンちゃん。積もっていそうでもそれ程でもないと言う高山村のお兄ちゃん。中野市内は『凄いですよ』と声を荒らげるアキ君。啞然とする雪の壁と山。この地域で新聞業をしている方はさぞかし大変であり、本当に頭が下がります。さて、今回ご紹介するのは飯山市。仏壇で有名な地域であります。ただ単に仏壇と言っても様々なパーツがあります。金具・木材・漆…「漆!」。ここに焦点を当てて調べてみると、ありました「藤澤時絵」さんです。2月の取材日は奇跡的に晴れ!雪が降っても対応できるように早めの集合設定となりました。この企画は沿っただけから体験してみたいと言っていた企画です。しかしながら、結メンバーでは誰も時絵のことは知らないまま体験に向かいました。大丈夫なのか笑?。

そもそも時絵とは、何かと説明しますと、主に漆器や仏具などに漆で文様を描き、金・銀などの粉を蒔(ま)きつけて再び漆を塗り、乾燥後低いで光らせ加飾をするという日本独自の漆工芸です。その技法は十数工程にも及び、同じデザインでも色や配色により全く違う作品となり、世界に一つしかない作品になります。時絵の歴史は非常に古く、奈良時代に始まり平安時代に盛んになりました。今日に伝わる基本的な時絵の種類として「平時絵」「研出時絵」「高時絵」の3種類があります。今回紹介する藤澤一雄さんは



2代目。創業は昭和25年、初代藤澤忠雄氏により飯山で地場産業である通産大臣指定伝統的工芸品飯山仏壇の時絵を始めます。その後、新たに時絵工芸品の分野に踏み込み『信州うるし工房 彩』を開設。時絵アクセサリーや時絵体験、展示販売など始めました。徐々に軌道に乗り、現在は奥さんと3代目とで時絵の魅力を広げています。去年11月、県知事表彰『信州の名工』を表彰。また、今年2月『信州ものつくりのマイスター』の認定を受けた、もの凄い方なのです。

では早速実践に移りましょう。まずはベースとなる器を選びます。ちょっと小さな器に好きな型紙を選んで絵を写すという作業になります。ここでは自分の好きな絵を描くことができます。しかしイメージが膨らまないおじさん5人は、先生が用意してある基本的な型紙の中から選ぶことにしました。お兄ちゃんはトンボ、沿っちは牡丹、智ちゃんアキ君は同じ桜柄、ケンちゃんウサギの絵を選択。型紙の下に転写シートを挟み、上から細いペンで絵の通りになぞるだけで簡単に器に下絵を写すことができます。この作業は細かい絵を選んで簡単に写すことができます。問題なのはこの次の作業なのです。



次は器に下書きした線を漆でなぞります。使用する筆は絵や書道で使うものより細く毛が柔らかいものです。そのため、線が急に太くなったり掠れてしまったりして上手く線を引くことができませぬ。皆集中し、自然と無口になっていきます。ここで藤澤先生にコツを教えるも「うん、」ゆっくると手前に向けて線を引くことで綺麗な線を引くことができますよ。細い線を描きたい時は筆を立て、筆を寝かせると太い線で描くことができます。もし間違えた時は、後で竹串等先の細いもので削ることが可能です。ここで注意したいことは、本漆を使っているため皮膚に付くとかぶれてしまつ恐れがあり、また服に付いてしまつと洗っても取れないそうです。ナイロン手袋を用意して付けていますが、体験する際は、なるべく肌の露出が少なく汚れても大丈夫な服装がベスト。書き終えると漆を乾かします。普通乾かす工程と言つと乾燥した場所に置いておくことを想像しますが、漆の場合は湿度がないと乾かすことができないそうです。仏壇や工芸品の場合は一週間程掛けて乾かしますが、今回は簡易的に15〜20分程で乾かしていきます。すると乾かす前は黄土色だった漆がこげ茶色に変化します。



いつもの賑やかながらの体験が、器に下絵から漆を使つてのなぞり描きまで約45分。黙々と続けた体験もそろそろ限界の結メンバーでした。沈黙を破り、口火を切ったのはやはり智ちん。『初めて漆で絵柄を書く経験で緊張したけど俺の桜の絵、上手く描けているよね?』向かい側で同じ桜の絵柄を描いているアキ君に自分の器を自慢げに見せながら覗き込みます。『俺より上手い!何で?』ガッカリする智ちんにアキ君は『たいしたことないです』とトヤ顔で返します。しかし、横に居た沼っちが『難しい

所を先生に描いて貰っているからだよ』。アキ君の秘密をあっさり暴露したことで、意気消沈していた智ちんは息を吹き返し、桜絵柄の器を自分の肩に乗せて『アキ君、素人が描く絵を忘れたのかい...。目ん玉開けて良く見やがれ!この桜吹雪を忘れたとは言わせなせー』。智ちんノリノリで遠山の金さんを演じます。アキ君は『はい、はい、先生のお蔭です』軽く流します。それでも智ちん『この器、家紋に見えたりするよね?ケンちゃん』。『見えるかも?』優しいケンちゃんの言葉を聞いて調子が出てきたようです。器をアキ君に見せながら『この紋所が目にはいらぬか?』。『何で遠山の金さんから水戸黄門なの?時代劇繋がらだから?』と、お兄ちゃんも絡んできたので、智ちん更に気を良くしたのか?沼っち助さん、お兄ちゃん格さんアキ君を懲らしめてやりなさい!』。1人で盛り上がる智ちんですが当然、誰も反応なし。先生も苦笑いで説明を始めます。『...え〜と。それでは金粉と銀粉を軽く焼いて下さい』。4人は智ちんとの絡みに疲れ作業再開しますが、1人だけ満足顔です。しかし、どう焼いて良いかわからず手をこまねいているメンバー。先生はそれを見かねたのかアキ君の隣に付き、おもむろにそのお皿を手に取り『こーやって焼くのですよ!』と言って、指でちぎった位の大きさの小さな真綿に金粉を付け、染めたい下絵の部分に上から丁寧に軽く焼き方を見せていきます。銀色も同じように焼きます。『はい、どうぞお皿』最後まで先生のサポートを受けるのはいつものアキ君(笑)。何時もながらに、ほっとけないオーラが出ているのでしょつか?メンバーには見えませんが結七不思議の一つです。(他の七不思議は随時紹介しますね♡)金粉と銀粉を



焼く作業はどの部分を金粉に染めるのか?どの部分を銀粉に染めるのか?個人個人のセンスがでます。『ここは金。そこは銀。で良いと思います』。と的確なアドバイスを受けつつ粉を焼くアキ君に対し、智ちんは自己流で右半分を金、左半分を銀で安易に粉を焼きます。その後、余分な粉を落とした結果、アキ君の皿の絵柄はお店で売られているような高級感がある出来栄。それに対し、智ちんの皿は素人感満載の見栄え。アドバイス一つでこんなに仕上がりが変わるものなのですね。

長野県北信地域では豪雪地帯である飯山市。スノーシーズンには観光客で溢れ、オフシーズンは山でのんびりとキャンプが似合う場所。ここ飯山はそれだけではない!ここは「伝統」溢れる地域なので、長野県内には経済産業大臣指定の伝統的工芸品が7品目あり、その内2つが、飯山仏壇、内山紙。是非とも国が認めた「伝統」をご家族、ご友人で体験してみても如何でしょうか。そこには日本の温かみがきつとめられます。



藤澤時絵

住所: 〒389-2233 長野県飯山市野坂田 741-4

連絡先: Tel: 0269-62-2717

Fax: 0269-62-2652

予約: 完全予約制です。電話、FAXにてお問い合わせください。*連休、土日は混み合う場合がございますので早めの予約をおねがいいたします。

料金: 3000円~

素材により異なります。詳しくはお問い合わせください。

体験時間: おおよそ90分くらいで完成します。